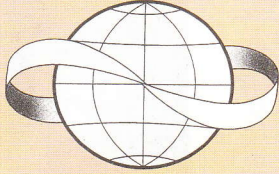


ヴェーナス通信

Venous (静脈)Venus (護美の女神)



第44号

商標登録第4882482号

発行 東多摩再資源化事業協同組合
理事長 紺野武郎 編集長 吉浦高志
東京都東村山市久米川町1-16-18
Tel&Fax 042-395-9788

日資連全国大会盛大に開催

再生資源市況混乱の中で

五月十五日、日本再生資源事業協同組合連合会は、仙台市において、経済産業省の認可団体となつて初めての全国大会を開催した。北海道から沖縄まで一五〇名の会員やご来賓で盛大な大会となった。経済産業省リサイクル推進課長・横山氏による基調講演「新たな資源循環型経済社会の構築に向けて」や、鉄スクラップ業界・古紙業界・回収業界の各代表によるパネルディスカッションなどが企画され有意義な大会となった。基調講演では、ここ数年間の経済の激変に、国の3R政策に対する新たな対応、そして各種リサイクル法による業況精査など解り易く解説して頂いた。

パネルディスカッションでは、世界同時不況前後の各業界の状況分析と対応策を議論した。一時間ほどの短い議論で、結論にまでは至らなかったが、いろいろな問題点やヒントを得ることが出来た。今回の二つの企画そして全国の会員と交わした情報や意見なども加えて感じたことを記して見たい。

◎再生資源市況の激変に、十分に

対応できないリサイクル法。

数年前、世界的な金融バブルで暴騰した資源やエネルギーは、各リサイクル法の想定範囲外で、携わった企業や自治体は大混乱した。処理費を払って法律で強制的に行うリサイクルから、市場原理に基づいた民々の流通に方向転換をするルートが主流となったからだ。法律に基づいた施設が撤退を余儀なくされたその直後、今度は世界同時恐慌となり、再生資源はまた、想定外の大暴落となった。「廃棄物処理法」の中に組み込まれ、ごみの適正処理に重点を置いたりリサイクルは、低炭素社会構築に適合しない部分もあり、さらに貴重な資源物の市況に左右されないう、安定した流通機構の確立に向かって、根本的に見直すべきだとの意見も強かった。

◎再生資源の市場の今後

市況回復時期はいつ頃か？

鉄スクラップは、在庫整理もつき、発生量も三〇%以上減少していて、ほぼ底を打ったのではとの見方が多かった。非鉄金属類も同じ理由で最悪の事態は切り抜けたものと思われている。

古紙類も発生が急減し、取扱量が二桁台の落ち込みとなっている。また今年に入って、中国向けの古

紙輸出が拡大し、三月五二万ト、四月五六万トと記録更新を続けて、業者在庫が減少してはいる。

メーカー在庫もやや減少してきたが、製品の減産態勢も依然として厳しく改善の見通しも遅れている。生産量が回復し、メーカーの古紙在庫が適正化に向かうのは、早くても秋口以降になるのではとの見方が強い。

しかし、今後発生量が伸びなければ、また一気に品不足となって、内外の市況過熱も予想され、需給両業界の対応策が注目される。

◎回収資源物の流れを明確にして、信頼される国際商品に

古紙の抜き取り事件や金属類の盗難騒動が後を絶たない。一方我が国の再生資源は国際商品として世界各国に輸出され品質も重視される。国の認可団体となった日資連は、回収する業者を厳しく審査して認定しており、資源物の回収流通経路を証明する「リサイクル化証明書」を発行して全国に普及運動を推進している。古紙や鉄スクラップの問屋業界も同方向で対応を急いでいる。業界全体が、品質面でも流通面でも問題になるような物は取扱わず責任を持つことで、世界に誇れる再生資源のジャパン・ブランドの完成を目指している。

直言拝聴

NPO法人・ごみ環境ビジョン専務理事

社団法人・東京都リサイクル事業協会

江川美穂子



はじめまして。私は、NPO法人ごみ環境ビジョン21の理事をしています。七月四日に開催予定の市民ごみ大学セミナーの講師を紺野さんにお願いしましたところ、ご快諾頂き、そのご縁でこの原稿を書かせていただくことになりました。

“ごみ”から学んで二〇年

いま思えば、私の人生が“ごみ”にシフトしたのは、一九九〇年五月のことでした。多摩市の公民館講座のアフターグループが発足するので、行ってみては？と知り合いに誘われたのですが、それが“ごみを考える会”だったのです。今年で二〇年目になろうとしています。

当時、多摩市の学校給食には割り箸が使われていました。私は毎日の給食で使い捨てを長女にさせたくないな、と思い、初めてのクラスの保護者会でお箸の持参をさせてほしい、と先生にお願いしてみました。すると、それに共感してくれた母親たちが、子どもにお箸持参をさせるようになり、それがクラスの半分にも達したのです。その後、数年かかって多摩市の給食から割り箸はなくなりましたが、この時、ささやかでも行動するこ

とで現状が変えられることを学びました。

また、今から考えるとウソのようですが、再生紙の学習帳を探すのも大変でした。子どもに使わせたくても、お店に売っていないのです。ある日、清掃工場に見学に行った際に、展示コーナーのガラスケースの中にそれを見つけ、すぐ、その「アピカ」というメーカーに電話してみました。「どこに行ったら買えるんでしょうか」という質問に、担当者は言いにくそうに、「実は製造しても売れないので、製造ストップの予定です」と言うではありませんか。「絶対にこれから再生紙の時代がきますから、どうかやめなさいください」とついに、会社にお願いにしに多摩から出かけていくことにしました。熱意は人を動かす！「ごみを考える会」の仲間の江尻京子さんとのこの熱いエールによって、「生産を続けてみましょう」ということになりました。私たちは、アピカの学習帳を会で仕入れて、メンバーの自宅で直接、近所の子どもに売ることも始めたので、メディアなどにも取り上げられ、再生紙の学習帳がようやく広まっていきました。

ごみの最終処分問題を発端に

そうこうしているうちに、九二年、私は大変な問題にぶち当たってしまいました。市の市政モニターで見学した日の出町の谷戸沢廃棄物処分場の広大な

面積とそこがもうすぐ満杯になるという現実。市ではやっと、びん・缶が不燃ごみから分別されただけばかりでした。

そしてちょうどその頃、会のメンバーが都内の集会でもらってきた一枚のビラで日の出町民主権の集会在初めて開かれることを知り、日の出町に出かけて行つたのです。そこで、私は同じ年頃の子どもを持つ母親たちの訴えを聞きました。「なぜ、また日の出町にあなたたちのごみの処分場を造るんですか」と。第二処分場反対運動の始まりでした。

当時、最終処分場がどこにあるか、など行政の印刷物にはなにも書いてありませんでした。行き先は「最終処分場」とだけ。

市民はもちろん関心もなく、当時はいつでも好きなだけダストボックスにごみを入れれば、誰かがいつの間にか処理してくれるという生活でしたから、このような多摩市の現実と、日の出町の現実とで、

私は悶々とした日々を送ることになりました。どう伝えていけばいいのだろう、と悩みつつ、市民に向けても発信していきました。

ごみ問題の解決を求めて

最終処分場問題は、数年にわたって紛争と化し、多摩地域でごみ問題に取り組んでいた市民たちは、ごみを持ち込んでいる側の運動として処分場に関する情報公開を求めていきました。

反対派と呼ばれ、対立が激しくなるにつけ、このようなことではないけない、ごみを減らすことが急務だとの思いで、解決策を探るために、多摩地域の市民や行政職員も一緒にあって、実行委員会を結成し、フォーラムを開催することになりました。

九六年十二月、「三多摩発 アクションフォーラム 二一世紀のごみを変える」。環境先進国ドイツから、BUND(ドイツ自然環境保護連盟)の創始者を呼んで、

ドイツのごみ政策を学んだこのフォーラムは八〇〇名もの参加者で会場は満杯になり、これをきっかけに準備会を経て、九八年五月に、ごみ・環境ビジョン21が発足しました。

次のステップへ

ごみ・環境ビジョン21は、ごみのNPOとして国分寺市内にやさやかな事務所を置き、活動を始めてから、今年で十二年目になります。全国に三〇〇弱の会員(個人・団体)がいます。ごみの発生抑制に主眼を置き、ものの生産から消費、廃棄までを見据えて主に次のような活動をしています。

●『市民ごみ大学セミナー』

発足当初から開催してきた市民ごみ大学セミナーは、七月で通算三〇回となります。セミナーの講演録も頒布しています。ここ数年に取り上げてきたテーマは・・・

- ・ポストごみ有料化の新たな挑戦
- ・生ごみ処理の仕組み作りを考える
- ・どう進める？ プラスチックリサイクル
- ・めざせ！ゴミゼロ「市民・事業者・行政で進めるごみ減量」
- ・新たな状況を迎えたプラスチック処理
- ・最終処分場の延命策
- ・本格稼働を迎えるエコセメント事業
- ・どう考える？ 国外リサイクル
- ・アジアへ向かう循環資源
- ・徹底討論「容器包装リサイクル法・改正」
- ・村田徳治さんに聞く！ 今後のプラスチック処理
- ・焼却炉過剰の時

代がそこまで来ている!? 検証・多摩地域のごみ焼却施設整備

●情報紙『ごみと・SUN』

「ごみを変える」ための情報発信と運動に力を入れています。

会員向けの情報紙『ごみと・SUN』は、特集の他、各地の先進事例や、見学記、ドイツの特派員報告、会員からの寄稿など、豊富な内容で読みやすいレイアウトを心がけています。

また、容器包装リサイクル法の改正の際には、審議会情報をタイムリーに発信し、運動の一端を担ってきました。

●容器包装を減らすために

家庭ごみの中身は、容器や包装が容積で六割を占めることから、「容器包装削減活動交流会」を毎年開催しています。食品や日用品メーカーの担当者から具体例を報告してもらい、市民側からの提案も行う交流会は、先見的な試みとして評価され、業界団体もその後同様な趣旨で開催するようになりました。

また、レジ袋削減を一步進め、有料化の方向を目指そうと、先進自治体の取組みなどを発信しながら、各方面に働きかけてきまし

た。

ごみの発生抑制のための仕組みづくりには、日々ごみに関わっている市民や自治体の声をもっと反映していくことが必要です。各地の行動の担い手となる人たちに適切な情報を発信し、共有する場を提供しながら、これからも持続可能な社会のために寄与していきます。よう活動していきたいと思っております。

最後にちよつと宣伝を・・・

市民ごみ大学セミナー

『これからの資源循環を展望する』再生資源のグローバル化と価格変動を踏まえて』

(日時)

七月四日(土)

一三時三〇分～一六時三〇分
場所・国分寺労政会館
(講師)

◆環境省廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室長 上田康治さん

◆日本再生資源事業協同組合連合会理事長 紺野武郎さん

◆小平市ごみ減量対策課課長 西稔典昭さん

ぜひ、ご参加ください！

市民に信頼される

安全作業の徹底を

小平・柳泉園RCの作業に従事している職員全員(六二名)を集めた安全講習会が、三月十四日(土)、行われた。

まず紺野理事長から、昨年から今年にかけてのリサイクル業界の厳しい状況の説明があり、これからは作業員一人一人が安全作業に心掛けて仕事に取り組んで行っていくと挨拶があった。

講習では、重機、選別ライン、プレス機械、車両等の各部所での安全作業の確認、作業員個々の健康管理、職場の決まり事の厳守、また、前以って全員に実施した安全作業と環境・リサイクルに関する筆記テストの答え合わせをしながら、もう一度安全作業の徹底を図った。

そういった中で、組合は、安全作業や法規の遵守、健康管理等の目的で、委託業務受注検査を、青年部を中心とした検査員がRCを巡回し、抜き打ちに検査を行っている。

これからも引き続き検査を行い、市民により一層信頼されるよう、安全作業の充実を図って行きたい。



安全講習会

第十六回

通常総会開催

去る五月二十一日(木)、東京都中小企業団体中央会の事務局次長小林仁志様の御出席の下、組合本部にて第十六回通常総会を開催した。

まず、司会者の開会宣言、萩原副理事長の開会の辞の後、紺野理事長が、「昨年度のGDP(国内総生産)の成長率がマイナス三・五%という戦後最悪の状況を、皆で今日まで乗り切ってきた事は、組合員の皆様の尽力のおかげであり、新年度以降も皆で力を合わせて再出発出来るという希望と安心感を持たせてくれた事に感謝申し

上げる。

組合設立以来十六年間、組合の基礎から今日に至るまでを築き上げてきた芳野事務局長が、本日をもって定年退職をされる事になり、その功績に多大なる感謝を申し上げます。

今後は、後任の栗田新事務局長を皆で支援しながら、新たなスタートを切っていきたい。」と挨拶した。

続いて、定年退職される芳野事務局長が、組合功労者として表彰された。この中で、芳野事務局長は、「この十六年間頑張ってきたのも、この業界にはいつて以来、組合員皆様の御協力の下、資源リサイクルについて色々勉強させてもらったこと、組合員皆様の日々の営業努力等、組合の発展のために尽力されてきた功績のおかげであると思っており、大変感謝申し上げます。今後とも組合員皆様の団結の下に、組合がますます発展していく事を祈っている。」と挨拶した。

この後、原口理事を議長に選出し、平成二十年度事業報告・決算関係書類の件、平成二十一年度活動方針・収支予算案等の議事が審議され、いずれも満場一致にて承認された。

議事の審議終了後、来賓の東京

都中小企業団体中央会の事務局次長小林仁志様が、「本日は、第十六回通常総会の審議を全て滞りなく終了され、誠に御座います。ありがとうございます。また、日頃より、当中央会の事業に御支援・御協力を賜り、感謝申し上げます。

現在は、百年に一度の厳しい状況ではありますが、今後とも組合員の英知を結集して、組合のますますの発展のために尽力して頂きますよう祈っております。

尚、現在当中央会では、専門家を招いての中小企業の経営支援事業や、企業のホームページ更新の助成事業等を行っておりますので、機会がありましたら是非御利用頂きたく、宜しく御願ひ申し上げます。」と挨拶した。

最後に、古川副理事長の閉会の辞をもって、総会は無事つづがなく終了した。



通常総会で表彰される
芳野前事務局長

第十六回TAMMAとことん

討論会に参加

去る二月二十八日(土)、国分寺ホールにおいて、第十六回TAMMAとことん討論会が開催され、参加した。

まず、石川県立大学教授で、俳夢雲(ハイムーン)というペンネームの環境漫画家でもある高月ヒロシ氏の「ごみから見た私たちのライフスタイル」の基調講演、とことんデイスカッションとして、(衣・食・住から考えよう! エコな暮らしと持続可能な社会へのライフスタイルとは:~)というテーマのもと、衣からの提言「衣料リサイクルの遷り変わり」を中野聰恭氏(ナカノ 惲代表取締役)、食からの提言「キッチンリサイクルの取り組み」を木村嘉宏氏(厚木なちよう大通り商店街振興組合理事長)、住からの提言「住まいのサステーナブル入門」を東直彦氏(株東総合設計事務所代表取締役)が話題提供ということで、それぞれの立場で講演され、デイスカッションへと移っていき、途中休憩を挟んではいたが、午後六時ごろまで活発な意見の交換が行わ

れた。

今回の討論会で特に興味深かったのは、「衣料リサイクルの遷り変わり」の話だった。

江戸時代には和服がリサイクルにとつて都合よく作られた衣装だったこと、明治当初は繊維原料は「和紙」に代わる「洋紙」になったこと、時代とともに「古着屋」から「ポロ屋」さんに移り変わり、現在ではリサイクル業者が扱う古着は九九%海外向けの中古衣料であること、日本人と日本の中古衣料を必要としている海外の人々の古着に対する考え方の違い、買った時に安く肌身に近い衣料品ほどリサイクルはし易く、肌身から離れるほど買う時は高くリサイクルしにくい傾向があるなど、また古着だけでなく古布(シャツ、タオル、毛布)なども貴重なリサイクル資源であること。

今回参加して、我々が回収で集めている「ポロ」がこうして国際化、グローバル化し、リサイクルされている事を市民に伝えていく事も必要な事ではないかと感じた。

市民と共に資源の 分別について勉強! 各市リサイクル フェアに参加

フェアに参加

去る五月下旬から六月中旬にかけて、地元三市の環境リサイクルフェアに参加した。

内訳は次の通りである。

- ① 清瀬市環境フェア
五月二十四日(日)、清瀬市子供児童館・神山公園
 - ② 東大和市環境と市民の集い
六月七日(日)、東大和市役所
 - ③ 東久留米市環境フェスティバル
六月十三日(土)~十四日(日)、東久留米市役所プラザホール内
- 当組合は、古紙・古布等の分別や、紙のリサイクルと地球環境に関するクイズと、集団資源回収・資源抜き取り問題に関するアンケートを実施し、御協力頂いた市民



清瀬市環境フェア



東久留米市環境フェスティバル

の皆様に、トイレレットペーパー「ブーメラン」やノート等を景品として配布した。

古紙・古布の禁忌品(写真・感熱紙・布団・ぬいぐるみ等)や、雨の日には古着・古布を出してはいけない事などを知らない市民の皆様が意外に多く、懇切丁寧に指導し、御理解を頂いた。

また、集団資源回収や資源抜き取り問題についても、パネルやチラシ等を用いて、詳細に説明し、特に、抜き取り問題については、資源リサイクルシステムの適正化に取り組んでいる事を訴え、十分に理解して頂いた。

最後に、地球環境保護対策(エコ対策)として取り組んでいる事をお尋ねしたところ、「レジ袋よりもマイバッグを使用」、「生ごみの堆肥化」、「エアコンの温度調節等の節電」という声が多かった。

「札幌市リサイクル事情研修会」

平成二十一年二月五日～六日に東多摩再資源化事業協同組合の新年会を兼ね、札幌資源リサイクル事業協同組合の方たちとの研修会に参加してまいりました。

今年は雪が少なくと言われている札幌も私自身も含め、普段の行いが悪い面々のせいか、大雪に見舞われました。

雪景色の中、ホテル到着後には「札幌雪祭り」を見学し、夕刻より本題の研修会となりました。

各々の組合の自己紹介の後、札幌市で行われようとしている雑紙回収の問題を中心に意見の交換が行われた。家庭ごみの有料化と合



研修・交流会で挨拶する
紺野理事長

わせた、雑紙を行政にて回収・分別梱包までの作業を直接行うという事だ。多額の公費をかけ処理施設を作り、この事業を推進するには行政の諸事情も見え隠れする。なかなか接することのない他地域の同業者との情報交換と研修会は非常に勉強になり、このような機会を今後も続けていけたらと強く感じた。



札幌資源リサイクル事業
協同組合の方々と共に

翌日には市内に在る「リサイクルプラザ宮の沢」を見学させていただいた。

こちらでは不要になった家具を修理・再塗装し、新品同様に再加工し販売したり、古着を加工して

靴や帽子などにして格安にて販売しているとの事。

普段、我々はリサイクルを生業としているため、なかなかリユースの施設を見学することがないため新鮮な驚きが多くあった。

「コラム」 Come come, カムカムコーナー、 ぜひ来てください

東村山市の西端、東大和市、所沢市にまたがる狭山公園 多摩湖と呼ばれて有名な村山貯水池。桜の季節はたくさんの方が見物にきます。

鳥がいつばいいいて、自然が豊かです。休日になると自転車に乗る人、ジョギング、ウォーキング、ただの散歩、子供から大人までゴチャゴチャと湧き出てきます。

そんな素敵な場所です。長い間工事の中だった、西武遊園地駅寄りの堤防耐震強化工事が今年に入って終わり、リニューアルオープンいたしました。

早速私も散歩の足を伸ばして見学に行ってみました。それはもうびっくりするくらいきれいになりました。堤防の頂上の幅も今までより広く、車道の二車線分くらいあります。

ベンチや腰掛け柵が設置され、ゆつくりと景色を見られます。

特に私からのおすすりは、堤防の真ん中の位置から望む、多摩湖町の町並みです。手前に木が生い茂り、左右に小さな山があつて、谷間の様な一帯に家々が建っています。

木々の間を時折西武線の黄色の電車がガタゴトと走っていくのは、津和野駅で見たSL貴婦人号を思い出します。六〇〇mくらいの長さの堤防には、三個所、ウッド風の階段が出来て、上り下りが出来ます。

堤防の外側下の道路はアスファルトで舗装されています。色がついてとてもきれいです。工事前はウッドチップが敷き詰められていたので足に負担がかからず気持ち良く歩けたのですが、これは残念です。

でも自転車や車いすの方も通れるようになったから、我慢しましょう。たちちゃん池も見晴らし台が出来て前より鯉の姿がはつきりと見えるようになり、面白いですよ。ぜひ遊びにいらしてください。お弁当を持って歩きか電車ですらつしやると、環境に優しく楽しい一日を過ごせますよ。

(吉浦)

『環境（エコ）』について

前向きに考えよう

● 結局は個人に返ってくる

世界の都市の中で東京は、地球温暖化に関して先進諸国の中で最も危機感を抱いているようですが、一方で、実際個人でどう取り組むかという点、その意識は最も低いという。CO2削減は国や企業任せ、日本の企業は環境面では世界有数の技術を持っています。とは言え、企業の努力には限界がありますし、『エコ』が一種のコマーシャルになるか、そこに経済原理が働かなければ、企業にとっては負荷の増大に過ぎず、またコストに転嫁されれば最終的には消費者の負担になります。

● エコって不便？

では、国や企業任せにしないで、一市民に何が出来るでしょうか？マイバッグ、マイ箸、エコドライブ、ノーカーデー、省エネ・・・やれることから取り組んでみれば良いのですが、つつい持ち歩くのを忘れるマイ箸・マイバッグ。こんな便利な世の中になってしまったから、『エコ』＝『不便』、『面倒くさい』という印象が拭い切れ

ません。

● 四〇年前には戻れません

「四〇年前の生活に戻れば良いんだよ」という人がいますが、無理です。「昔はこうだったんだからこうしなさい！」などと言われた経験ありませんか？

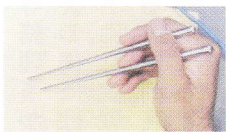
内容的には同じことを言っているのですが、「これから先のライフスタイルはこういうの（四〇年前のようなスローなスタイル）がカッコいいんだぜ」って、言われたらどうでしょう？「そっか、エコってカッコいいんだ」

● カッコいいから持っています

私は先日頃、『マイ箸』を持ち歩いています。腰に下げたキーホルダーからさっと取り出し、シャキーンと伸ばすと箸になる。エコカッコいいでしょ。



ここから



シャキーン

エコカッコいい『マイ箸』

配膳係の女性がいるような店だとそれこそあえて『マイ箸』を使う。それだけで、話題が広がる。「ほら、エコはカッコいいでしょ。」って啓蒙活動も出来る。たま

に『マイ箸』を忘れてもいいし、割り箸を使う人がいてもいい。割り箸屋さんを潰すわけにいかないし、間伐材で作った割り箸もあるから。それに、使い終わった割り箸を薪木に使ってくれる店もあるから。

「家の中で、エアコンは省エネ温度にしなさい、テレビは一日二時間にしなさい。」それもよし。でも熱いよね。少しだけ、言い方を変えてみよう。

「心地よい温度までエアコンかけていいよ、テレビも見たいだけ見たいよ。でも、みんなバラバラにそれぞれのお部屋じゃなくて、居間でみんな揃って涼しみながらテレビを見よう」

多くの人が前向きにエコに取り組めるんじゃないでしょうか？『マイ箸』が全てではないけれど、『マイ箸』を持っている人なら、他のことにも気を使ってくれそうな気がする。ごみをポイ捨てしないだろうし、レジ袋貰わなかったり、ごみと資源だっけしつかり分別したりしそうな気がしません？『おまえはマイ箸以外は何でエコじゃねえーな』なんて言われたら、カッコ悪いですからね。

● みんながヒーロー

話は変わりますが、今の世の中は英雄を求め過ぎているように思います。一人の英雄の活躍では、世界平和も地球規模の環境問題も解決できません。議論を積み重ねることだけでもなかなか解決の糸口が見つかりません。それより、自分が出ることの一つでいいから、環境にやさしい取り組みを始めてみればいいと思います。『カッコいいから』そんなきっかけでも良いと思います。一人でも多くの心ある人たちの前向きな『行動』が世界を変えていくのだと思います。

● 前向きなモチベーションで無理にこうしよう、急にこうしようとする物事ってうまくいきません。『エコはカッコいい』ってプラスのモチベーションだったら、

『カッコいい』大人の背中を見せながら、次世代に緑豊かな地球を残そう！
(地球防衛軍T)

中学生の職場体験学習

当組合では、小平二中（株）土井商店にて受け入れ、東村山二中（株）三栄サービスにて受け入れの中学生の職場体験学習の受け入れを行った。

四〜六名の中学生がそれぞれの事業所に三日間通い、朝の点呼に始まり、行政回収や集団回収、事業所回収などの車両に乗り、顧客への挨拶から荷物の積み込み、荷下ろしまで、体験して頂いた。事業所のヤード内では、ラインに入って選別作業をしたり、施設を見学して古紙のリサイクルについていろいろ勉強して頂いた。



職場体験の様子

職場体験の初日の午後には、（社）東京都リサイクル事業協同組合の理事である戸部様と後藤事務局長のご協力の下、リサイクル勉強会を行った。紙のリサイクルに

ついては、吉浦専務理事から講義があった。勉強会の後には、リサイクル実力テストにも挑戦して頂き、満点を取れるまで何度も質問を受けながら、最後には全員無事卒業となった。



リサイクル勉強会の様子

参加した中学生からは、
『僕たちのために三日間ありがとうございました。初めてトラックに乗ったのでとてもうれしかったです。集団回収でトラックに乗り降りしたりするのは大変でした。』
一日目の勉強会はとても役に立ちました。僕はなるべくものを捨てないように頑張ろうと思いました。

『この仕事は、今世の中で騒がれている環境問題の根の部分になるリサイクルのお仕事で、今回体験して資源とごみ、その他のものも使えるものは出来るだけ使って、



集合写真

正しく分別して捨てるようにしようと思いましたが、慣れている『仕事は大変でしたが、慣れていくにつれだんだん仕分け作業が楽しくなりました。なにより、昼食がとっても美味しく感じて良かったです。』

など、感想を頂いた。三日間だけでは、うちの業務のすべてを勉強できるわけではありませんが、仕事というものが大変で、尊いものだということが分かってもらえれば良いと思う。

そして、大人になったときに、あの時お世話になった会社で顔を出してみよう、あの仕事をしてみたい、そんな気持ちを持ってもらえんとすれしく思う。同じご近所さんとして、うちのトラックを見かけたらいつでも声掛けてください。

（青年部T）

東多摩再資協

青年部総会開催

〜新部長に福田雄二氏が選任〜

去る四月二十九日（水）、第七回東多摩再資協青年部総会が開催された。会計の柿崎部員の司会進行で福田幹事が議長に選任された。藤野部長の代理で紺野副部長から年度の活動報告と新年度の活動方針が報告され、柿崎会計から決算予算の報告、吉浦監査から監査報告があり、全議案とも満場一致を持って可決承認された。

また、藤野部長の理事就任を受け、改選期ではなかったが役員改選をした。新役員として、三代目青年部長に福田雄二氏、副部長に紺野琢生氏、幹事に水野敬一氏、吉浦亜矢子氏、藤野前部長は監査



東多摩再資協青年部総会

に就任した。

来賓として、紺野理事長、萩原・古川・小畑副理事長、吉浦専務理事、土井相談役にご臨席を頂き、その後の懇親会では青年部への叱咤激励を頂きました。今年も福田新部長のもと、これまで以上の結束を持って青年部活動にまい進していきたくと思う(青年部T)

◇新部長挨拶◇

第三代青年部長 福田雄二
新たに東多摩再資協青年部の部長を仰せつかりました福田雄二です。

これまで、学生時代の部活動等を振り返っても、こういう団体で『部長』と名のつくポジションに就くのは初めての事です。
年齢的なものもあるんでしょうが、推薦してくれた部員の皆様や応援して頂いている理事の皆様のご期待に添えるよう、頑張つて参りたいと思っています。

初代土井健一郎さん、二代目藤野理広さんが築き上げてきたこの東多摩再資協青年部をより一層盛り上げていくべく、部員の皆様力を貸して下さい。

そして、理事の皆様、青年部に変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、部長就任の

ご挨拶と代えさせて頂きます。



福田新青年部長

各市場回収団体との意見交換会に参加

●西東京市集団回収意見交換会
去る四月六日、西東京市こもれびホール(小ホール)にて平成二十一年度集団回収意見交換会が開催された。

主催のごみ減量推進課の新任の課長青柳様のご挨拶のと、市担当者からの報告や説明があり、参加の市民からの質疑を受けた。

牛乳パックの分別の方法に関する質問や、最近頻発している不法投棄の問題等、市民・行政・業者有意義な意見の交換が行われた。毎年この会に参加させていただいているが、市民の皆様のごみ減量・資源化への意識の高さに改めて驚かされる会であった。

(福田)

●東村山集団資源回収団体連絡会

五月二四日(日)、東村山市市民センター会議室にて開催された集団資源回収団体連絡会に参加した。当組合からは、紺野理事長と青年部の水野が参加した。

なお今回から資源回収を楽しくすすめる会の副会長に水野が就任し、新たに委員として当組合事務局柿崎が加入した。

前年度集団資源回収実績として、回収量が若干減少傾向にあり、各団体の世帯数、新規登録団体の増加をお願いした。

また質疑応答では、新たに集団回収を実施していただくとしている自治会からの質問に対して、他の自治体からアドバイスが出るなど、



東村山市資源回収を楽しく進める会

トイレットペーパー

「フューメラン」

(65m巻き・100個入り)

1ケース3,000円(消費税・配達料込み)です。

※注文は1ケース単位です。

※尚、配達地域は以下の地域に限定致します。

〔小平市・東村山市・東久留米市・

清瀬市・西東京市・東大和市〕

ご注文は当組合までお願いします。

TEL&FAX : 042-395-9788

集団回収に取り組み意識の高さを改めて感じた。

集団回収は、ごみの減量、再資源化の推進、地域コミュニティの活性化を図ることができる。今後、も研究、対話を続け、より参加しやすい集団資源回収を啓蒙していきたい。

(水野K)

一兆円とは如何ほど？

一兆円を一万円札で積み上げると、約百トンの重さになるそうです。因みに一兆円の山を、毎日一億円ずつ使ったとして、使い終わるのに二七年以上かかるのです。つまり毎日一億円ずつ返しても二七年プラス利息分(数年)かかることになります。この度の政府の補正予算は十五兆円、一万円札で千五百トンの重さになるわけです。古新聞ならいざ知らず、一万円札を千五百トンも何処から集めてくるのだろうか。それを誰が使い誰が返すのだろうか。すでに国の借金は八百兆円にもなると言うじゃないですか。大丈夫かな 子供や孫たちは

行事・行動

【平成二十一年一月】

- 八日..都中央会新年会
九日..古紙C新年会
..日本鉄リ工新年会
一日..定例理事会
一五日..小平RC安全会議
一八日..神奈川県資源組合
一九日..千葉県リサイクル連合会
二三日..クリンジャパンC理事会
..古紙C業務委員会

- 二六日..青年部会議
二七日..東廃協新年会
二八日..(社)東リ協会理事会

【二月】

- 二日..埼玉県資源組合
..古紙回収推進特別委員会
..EA21中間審査
四日..東村山二中職場体験研修
五日..視察研修・札幌
七日..東資協新年会
一日..官公需検査委員会
..定例理事会
一七日..(社)東リ協会理事会
..小平RC安全会議
一八日..中野区懇談会・東リ協会
二〇日..青年部会議
二五日..資源回収業務検査
二六日..小平RC安全会議
二七日..3R教育S調査会
二八日..多摩とことん討論会

【三月】

- 三日..(社)東リ協会多摩部会
..RC・資源回収業務検査
一日..官公需検査委員会
..定例理事会
四日..安全研修会ボーリング会
一七日..古紙C理事会業務委員会
一八日..クリンジャパンC理事会
一九日..小平RC安全会議
二三日..(社)東リ協会理事会
二四日..東村山市廃棄物審議会
二五日..(社)東リ協会常務会

- 二六日..青年部会議
二七日..業務委員会

【四月】

- 六日..リサイクル議員懇談会
..西東京市集団回収懇
一日..定例理事会
一六日..小平RC安全会議
二一日..古紙回収推進特別委員会
..東リ協会・理事会
二四日..広報委員会
二八日..青年部会議
二九日..青年部総会

【五月】

- 六日..財務委員会
八日..都環境部長表敬訪問
..会計監査
一日..定例理事会
二日..3R活動推進フォーラム
..小平RC安全会議
一五日..日資連全国大会(仙台)
..青年部会議

- 一六日..東資協総会六〇周年記念
一九日..(社)東リ協会決算総会
二〇日..奈良県資源組合総会
二一日..第一六回通常総会
二二日..長野県資源組合総会
..西東京委託業者会議
二四日..東村山市集団回収懇談会
..清瀬市リサイクル祭り
二五日..広報委員会
二七日..古紙C業務委員会

編集後記

- 二八日..全原連総会(静岡)
三〇日..群馬県資源協連合会総会

今号に御寄稿くださいました江川様ありがとうございます。ますますのご活躍を期待致します。さて、国が推し進めている景気対策に「どこまで行っても千円」

の高速料金がある。土日限定二年間の施策で、「四、五」ナンバーだけ。自動車産業の支援にも繋がる。地方に得意先がある同業者が、訪問を土日にずらす事で、高速代を浮かしている。乗用車だけでなく、トラックも含めて平日も安くねればありがたいと感じた。しかし、安さを喜んでいる人々の裏で、会社倒産の危機を迎えている人たちがいた。四国と行き来するフェリー会社である。橋ができて客が減った所に今回の高速支援策でとどめをさされた格好だ。新幹線も客足が減っている。

また、この制度でCO2量が六〇万トン増えたとか、本当ですか？政府は、エコ家電のポイント、エコ車の推進(助成金の交付)等の施策を掲げているが、無駄をなくするリデュースはどうなっているのでしょうか。(吉浦高志)